

【 第15回ジュニアアジア選手権 】

2016年7月22日～8月1日

開催国:ヨルダン

試合結果報告

7 月 26 日 (火)

JAPAN	VS	KOREA
10	前半	12
17	後半	19
	第一延長	
	第二延長	
27	合計	31

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	袈屋 竜流			0
2	藤村 勇希			0
3	園田 涼太			0
4	康本 侃司			0
5	田里 亮稀	1	2	3
6	小澤 基			0
7	伊舎堂 博武	3	5	8
8	原田 竜汰		2	2
9	大谷 由岐也			0
10	三重 樹弥	1	5	6
11	安平 拓馬			0
12	羽諸 大雅			0
13	牧野 イサム	4	1	5
14	北詰 明未		1	1
15	山田 信也	1		1
16	前原 大輝			0
17	川上 勝太			0
18	中田 凌河		1	1
				0
	合計	10	17	27

試合結果

戦評

ジュニアアジア選手権のメインラウンド第一戦の相手は韓国。スターティングメンバーは第一戦と変更なく、LW小澤、LB牧野、CB田里、RB伊舎堂、RW安平、P山田の布陣で始まった。日本のスローオフから試合が始まり、No.7伊舎堂のミドルで先制。韓国は日本のDFを崩し、カットインシュートまで持っていくがGK羽諸のファインセーブにより得点を上げることができない。日本は3対0とリードを広げるが、ここから韓国はNo.77の個人技で得点し5対5の同点に追いつく。その後は互いにミスが続き、得点を上げることができない。しかし、韓国No.77のミドルシュートで連取を許し、日本は10対12の2点差で前半を折り返した。

後半開始直後、10対14と点差を広げられたが、DFから速攻につなげ4連取し、同点に追いつく。しかし、ここから韓国が着実に得点していくのに対し、日本はミスを連続し、16対19と点差が開いてしまった。日本は同点に追いつくためにDFシステムを変えたり、7人攻撃を仕掛けたりと策を講じるが、なかなか点差を縮めることができない。終盤、20対27となり7点差をつけられるが、最後まで諦めず走り続け、No.7伊舎堂、No.10三重が得点をあげ、27対31で試合を終えた。

報告記入者 :

寺脇 将